

当院で用水路転落による外傷等の 治療を受けられた患者さんへ

当院で行っている臨床研究についてのお知らせとお願いです

当院へ救急搬送となった用水路転落外傷患者の特徴と予後

◆研究の目的と概要◆

倉敷では用水路に転落したためにケガをされた患者さんが多数おられ、当院はその患者さんの診療を行ってきました。そのような患者さんの数、重症度、予後、医療費等を明らかにし、将来的に予防につなげるために、用水路転落外傷の患者さんを対象にした臨床研究を実施しています。この研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

◆対象となる患者さん◆

2013年1月から、2016年12月までの間に、用水路転落外傷であると診断された方。

◆研究に使用されるカルテ情報◆

受診年月日、年齢、性別、主訴、外来での転帰、入院症例の予後、受傷機転、受傷した時間帯、飲酒の有無、溺水の有無、直接医療費

◆研究方法◆

本研究は、救急搬送管理のデータベースから用水路に転落した可能性が高い患者さんを選択し、過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、患者さん個人が特定されるような情報は一切公表されません

* この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。

* この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用を希望されない方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

研究責任者 救急科 市川元啓/ 総合診療科 栗山 明

TEL： 086-422-0210（代表）、 FAX： 086-421-3424（代表）

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp(臨床研究センター)(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明